

トゲシラホシカメムシ (white-spotted spined bug)

Eysarcoris aeneus



トゲシラホシカメムシ

発生生態

成虫の体長は4.5～7mm、体は灰褐色で黄白色の斑紋が1対あり、胸部の両側はとがっています。水田周辺のエノコログサなどのイネ科雑草で増殖し、出穂期以降水田に侵入した成幼虫が穂を吸汁し斑点米を発生させます。

防除対策

水田周辺のカメムシ類の密度を下げるため、出穂10日前までに畦畔雑草を刈り取ることが有効です。なお、刈り取り時期が遅れると逆効果になります。

カメムシ類が多発し問題となっている地域では、穂揃期と傾穂期の2回薬剤防除を行うことが有効です。